

いざというときの備えを！



神戸市内で(1月26日撮影)

いつ起きてもおかしくない 南関東直下型地震

1月17日の早朝、大都市直下で起こった兵庫県南部地震は、想像をはるかに超える大被害をもたらしました。

ただ恐れるだけでなく、これを機会にいざというときのための備えを、いま始めましょう。

備えがあれば、被害をより小さくし、より早く立ち直る態勢をとることができるのではないのでしょうか。

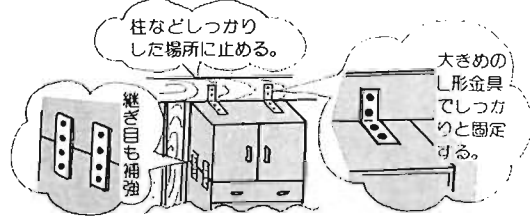
現在、国や都をはじめ、豊島区でも防災体制の見直しをすすめています。自分の身は自分で守る」という心構えと備えが必要です。

この特集号では、各家庭や職場での地震に対する備えをまとめてみました。家庭で、地域で、職場で話し合い、大地震に備えましょう。

◆詳細：防災課 内線 23371

ケガをしないために

家具類の転倒防止



・タンスなどの上に物を置かないようにしましょう。
・寝室、お年寄りや子どもの部屋は家具の配置も考えましょう。

電灯などの落下防止



ガラスの飛散防止

透明粘着フィルムをはる。

厚手のカーテンをつけ、就寝時は必ず閉めておく。

出火防止、消火用具の備え

グラツときたら火の始末

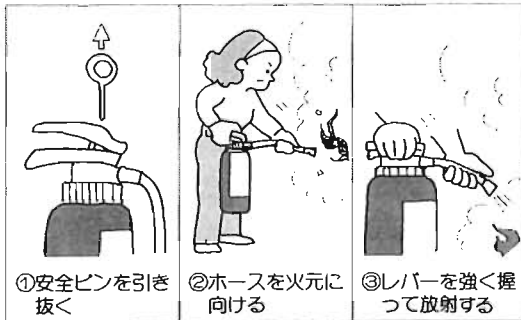


消火器の用意



※ふろの残り湯は流さないようにしましょう。消火用水や生活用水として使えます。

消火器の使い方



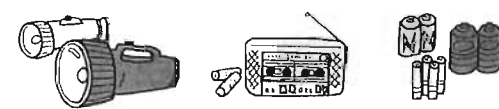
地震後の暮らしのために

断水に備えて

最低1人1日3ℓは必要です。例えば、4人家族だと3日分で36ℓ(18ℓポリタンク2個分)は用意したほうがいいでしょう。



停電に備えて



大きめの非常用ライト(家族の人数分)

ラジオ

予備の電池も多めに。

ガス停止に備えて

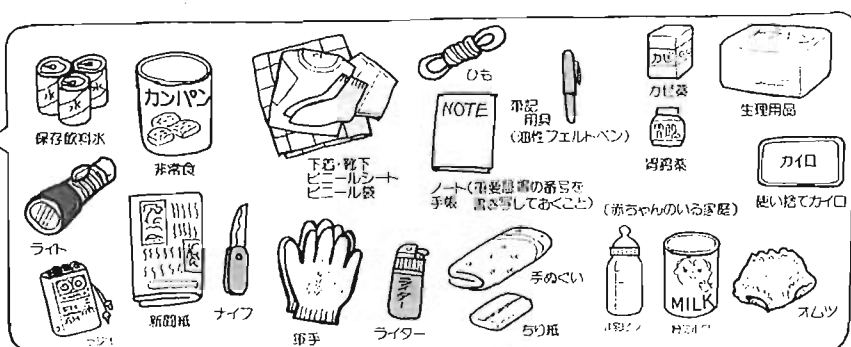


カセットコンロが役に立ちます。ボンベも多めに準備しておきましょう。

避難するときのために



・期限切れのものがないかとときどき点検しましょう。
・持出袋はすぐ持ち出せるところに。



食料不足に備えて

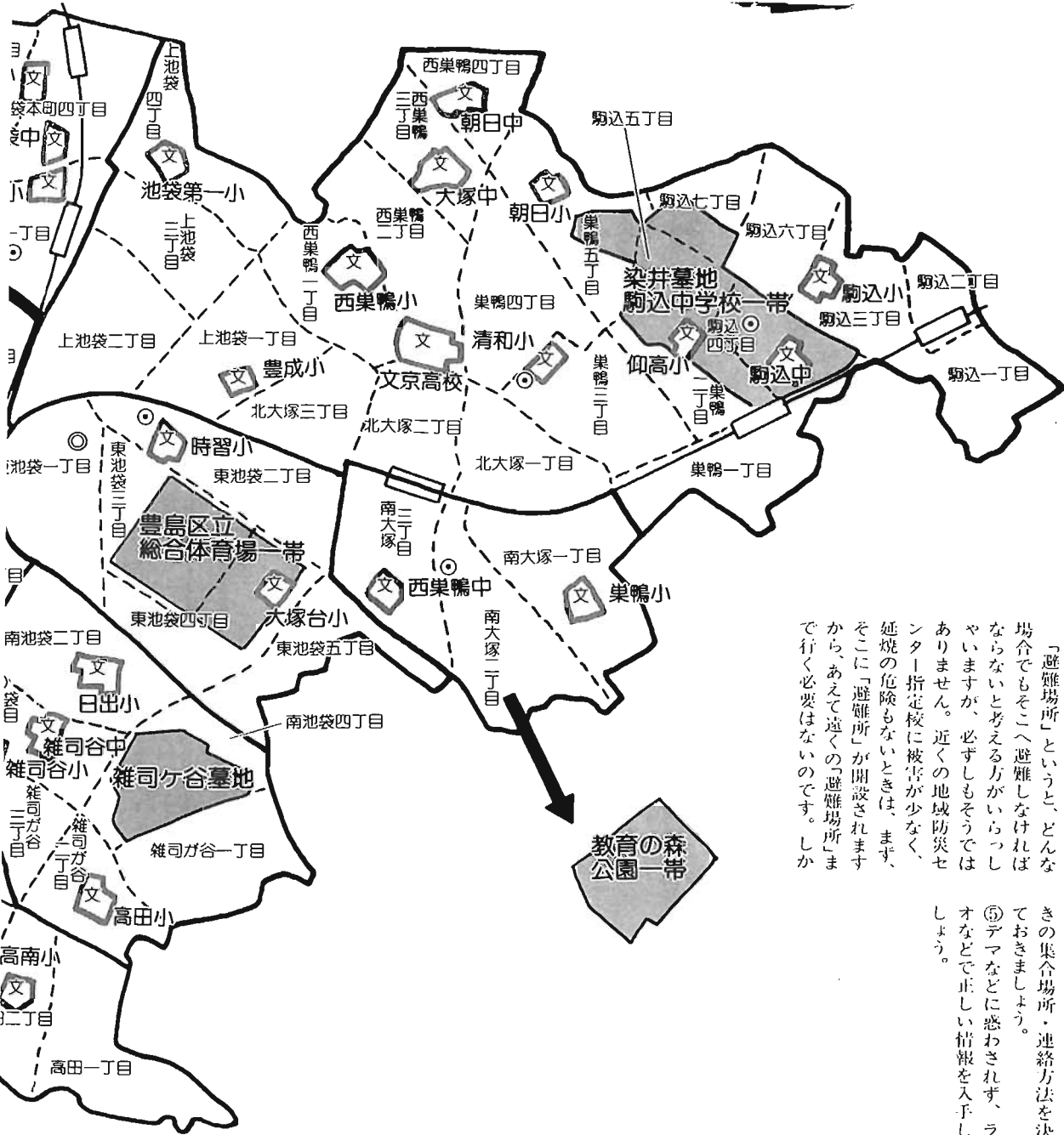
最低3日分の蓄えを



赤ちゃんのいる家庭は普段から粉ミルク等も多めに。

予備のお米も

豊島高校)の「避難所」へ 「広域指定避難場所」へ



Q1 「避難所」と「避難場所」はどう違うのですか？

A1 「避難所」は、区が被災住民の救援救護を行う拠点となる場所で、公立小中高校44校(左表)が指定されています。その中でも「地域防災センター」指定校(29校)は、各種防災資器材が配備しており、次のような機能をもっています。

- ① 災害情報の収集伝達
- ② 炊飯器、ろ水器などによる給食給水活動
- ③ 被災者の一時宿泊所
- ④ 応急医療救護所

Q2 指定された避難場所は、かなり遠いのですが、近くにある指定外の避難場所へ避難してはいいのでしょうか？

A2 指定された避難場所は、正式には「広域指定避難場所」といいます。関東大震災で火災による被災者が多数にのぼったため、その教訓を生かし、周囲から火が迫っても安全が確保できる広さ(最低でも10ヘクタール約3万坪)のある場所を、地域の人口を考慮して、東京都が条例に基づき指定するものです。

Q3 「避難場所」は、正式には「広域指定避難場所」といいます。関東大震災で火災による被災者が多数にのぼったため、その教訓を生かし、周囲から火が迫っても安全が確保できる広さ(最低でも10ヘクタール約3万坪)のある場所を、地域の人口を考慮して、東京都が条例に基づき指定するものです。

A3 ①避難するときは自動車を使わないでください。大地震発生直後は、環状7号線の内側は全面通行止となります。②実際に「避難所」となる学校や「避難場所」まで歩いてみましょう。③「避難所」となる学校や「避難場所」までの道順は二つ以上調べておきましょう。④家族が離ればなれになったときの集合場所・連絡方法を決めておきましょう。⑤テマなどに惑わされず、ラジオなどで正しい情報を入手しましょう。

Q3 そのほか避難に関することとて気をつけるとは？

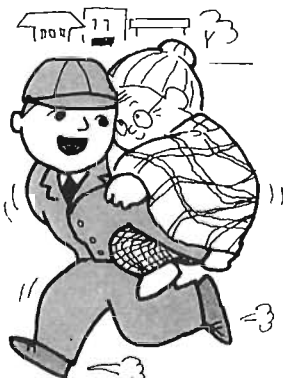
A3 ①避難するときは自動車を使わないでください。大地震発生直後は、環状7号線の内側は全面通行止となります。②実際に「避難所」となる学校や「避難場所」まで歩いてみましょう。③「避難所」となる学校や「避難場所」までの道順は二つ以上調べておきましょう。④家族が離ればなれになったときの集合場所・連絡方法を決めておきましょう。⑤テマなどに惑わされず、ラジオなどで正しい情報を入手しましょう。

地域で

備品などの検
に異常がないか、口ツ定してあるかなどを点う。



災害弱者への手助け
高齢者、障害者の方のいる世帯を、いざというとき地域で手助けできる体制を作りましょう。



防災訓練の実施
避難訓練、消火訓練、応急救護訓練などを積極的に実施しましょう。



災害時の役割分担
消火班、救護班、炊き出し班、食料配給班など、役割分担を決めておきましょう。



町内安全点検
避難路沿いにある危険物の点検、街頭消火器の位置の確認などをしましょう。



地域や職場でも地震対策を

避難しなければ ならないときは

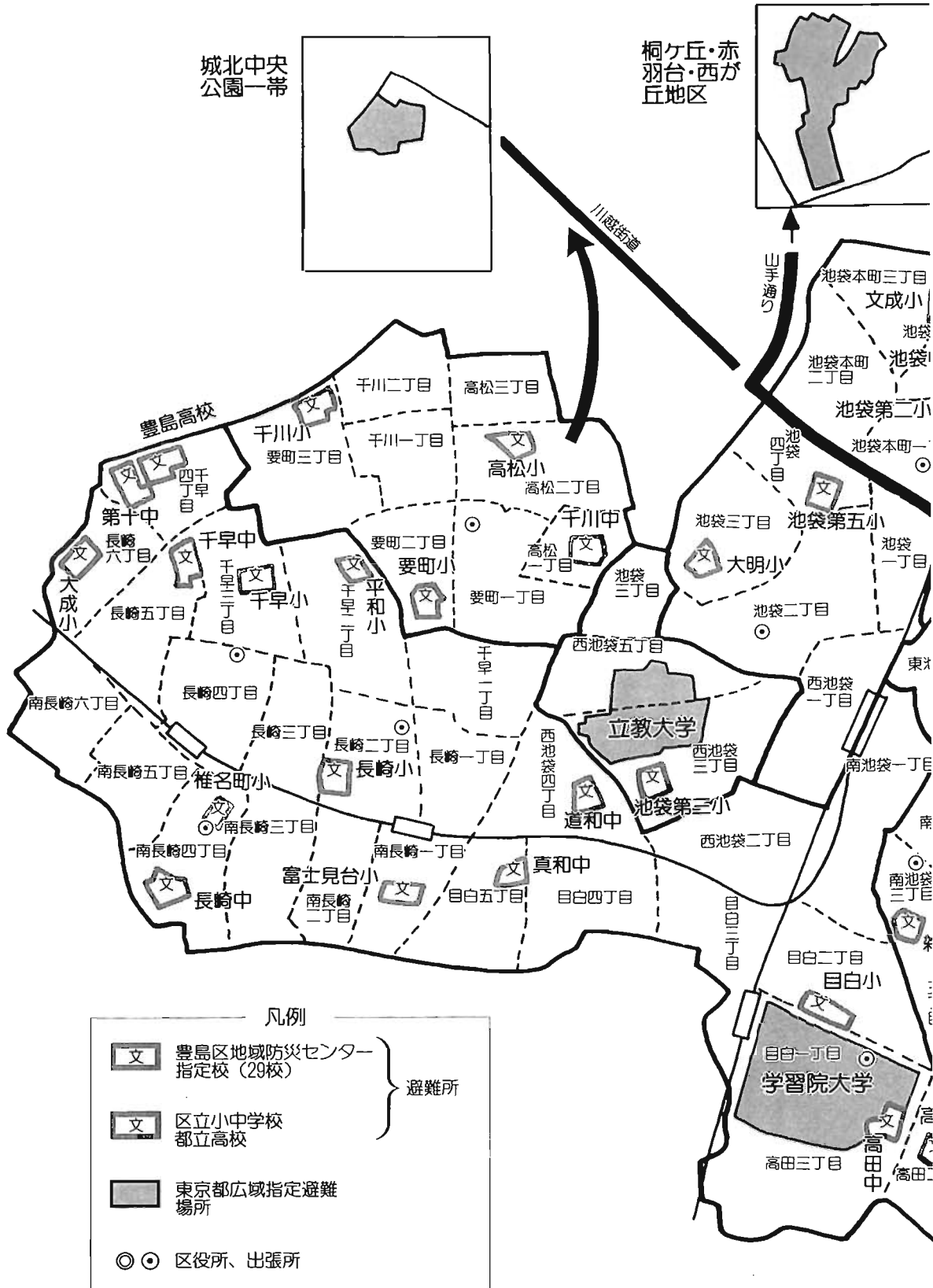
- ▶ 区立小中学校、都立高校(豊文)
- ▶ 延焼火災が拡大したときは

避難所一覧

○は地域防災センター指定校(29校)

小学校	○仰高小学校 駒込5-1-19 ○駒込小学校 駒込3-13-1 ○巣鴨小学校 南大塚1-24-10 ○清和小学校 巣鴨3-14-1 ○時習小学校 東池袋2-51-4 ○西巣鴨小学校 西巣鴨1-27-1 ○豊成小学校 上池袋1-18-24 ○大塚台小学校 東池袋4-40-1 ○朝日小学校 巣鴨5-33-1 ○池袋第一小学校 上池袋4-28-1 ○池袋第二小学校 池袋本町1-43-1 ○池袋第三小学校 西池袋3-14-3 ○大明小学校 池袋3-30-8 ○池袋第五小学校 池袋4-23-8 ○文成小学校 池袋本町4-36-1 ○高田小学校 雑司が谷2-12-1 ○雑司が谷小学校 南池袋3-7-1 ○高南小学校 高田2-12-7 ○日出小学校 南池袋2-45-1 ○目白小学校 目白2-11-6 ○長崎小学校 長崎2-6-3 ○要町小学校 要町2-3-20 ○椎名町小学校 南長崎4-30-5 ○富士見台小学校 南長崎1-10-5 ○千早小学校 千早3-33-5 ○高松小学校 高松2-57-22 ○千川小学校 要町3-54-16 ○大成小学校 長崎6-16-1 ○平和小学校 千早2-39-3
中学校	○駒込中学校 駒込4-5-1 ○大塚中学校 西巣鴨3-17-1 ○西巣鴨中学校 南大塚3-18-1 ○朝日中学校 西巣鴨4-9-1 ○池袋中学校 池袋本町4-5-24 ○道和中学校 西池袋4-7-1 ○高田中学校 目白1-1-1 ○雑司が谷中学校 南池袋3-18-12 ○長崎中学校 南長崎4-13-22 ○真和中学校 目白5-24-12 ○千川中学校 高松1-9-21 ○第十中学校 千早4-8-19 ○千早中学校 長崎5-31-29
高等学校	豊島高等学校 千早4-9-21 文京高等学校 西巣鴨1-1-5

(計44カ所)



職場で

※事業所の防災計画の立て方や防災訓練については消防署へご相談ください。

豊島消防署 ☎399850119
池袋消防署 ☎399880119

地域への協力

会社組織も地域の一員です。日ごろから地域住民と話し合いの場をもって、いざというときは地域住民とともに、わが町を守りましょう。

防災訓練の実施

消火訓練、避難訓練、応急救護訓練のほか、緊急連絡訓練なども重要です。

防災資器材の配備

消火器は当然として、消火バケツ、救急用器材・薬品、できれば各従業員にヘルメットなどの保護用具も用意しましょう。

防災計画の立案・見直し

- 施設・機器の耐震化
- 災害時の従業員の役割分担
- 緊急連絡体制の整備
- 従業員の防災行動力の向上
- 重要データのバックアップ体制の整備など。

建物や安全点

建物などにカー等が固定候ししょう

わが家の地震対策 チェックリスト

全部の項目が○になるよう、今日からさっそく実行しましょう。

非常用品

最低3日分の飲料水、食料、燃料などを用意している。	
懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池も用意している。	
非常持出品は袋に入れて、すぐに持ち出せる場所に置いている。	
非常持出品の中で使用期限の過ぎたものがないかを時々点検し、補充している。	
救急医薬品を用意している。	
貴重品や重要証書の登録番号などを控えている(コピー等)。	

確認しておくこと

家族で、地震が起きたときの対策や役割を話し合っている。	
家族それぞれの連絡先や連絡方法を全員が知っている。	
定められた避難場所までの道順(二つ以上)を、家族そろって下見している。	
避難場所が別々になったときの連絡方法について確認し合っている。	
親戚など災害後に頼れる人たちの連絡先を家族全員が知っている。	
最寄りの警察署、消防署、病院のある場所と道順を知っている。	
家族の血液型を知っている。	
隣近所や町内の協力体制について話し合ったことがある。	

防火の心構え

小さな地震でも、すぐにガスの器具栓や元栓を閉めている。	
火の使用は必要最小限にとどめている(同時に何か所かで火を使うことはなるべくしない)。	
短い時間でも、その場から離れるときは、いったん火を消している。	
使用していない電気器具(アイロン、トースター、ヘアドライヤーなど)はコンセントからプラグを抜いている。	
台所ではガス台の近くに燃えやすいものを置いていない。	

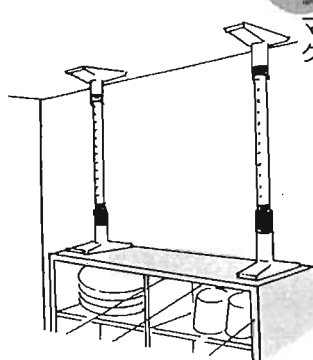
消火の備え

風呂おけなどに常時水を貯えている。	
消火器は取り出しやすい場所にあり、その場所を家族全員が知っている。	
家族全員が消火器の使い方を知っている。	
街頭消火器のある場所を知っている。	
消火器の中身の消火剤は有効期間を過ぎていない。	


家具類の転倒防止

寝室、子どもやお年寄りの部屋などは、家具転倒防止を確実にしている。	
玄関、縁側など外への避難路となる場所は、家具が転倒してふさがれないように配置している。	
倒れてきた家具の下敷きにならないように、家具の置き方を工夫したり、整理整頓に心がけている。	
台所の食器棚の中の大きくて重いものや陶器、ガラス製品などは下の方に置いている。	
家具の上に転倒、落下しやすいものは置いていない。	
観音開きの戸は止め金を付け、地震の揺れでも開かないようにしている。	
つり下げ式の照明器具は落下しないように補強してある。	
バルコニーの手すりや階段の踊り場の上などに植木鉢などを置いていない。	
窓ガラスや食器棚、サイドボード、本棚などのガラス戸には透明粘着フィルムなどをはって、割れても飛び散らないようにしている。	

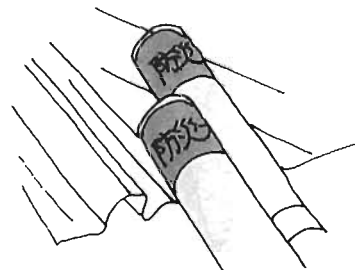
突っ張り式 家具転倒防止具
マンションなど天井が硬い部屋に有効。
クギなどを打たなくて済みます。




非常持出袋
大きめでポケットの多いものが便利。
燃えにくい素材のものを。



ガラス飛散防止フィルム
窓ガラスのほか、食器棚などのガラス部分にもはっておくといでしょう。

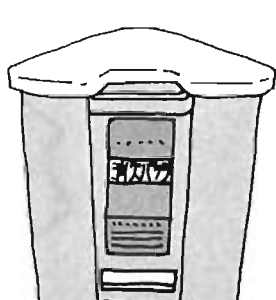


ラジオ付ライト
情報と照明は欠かせません。

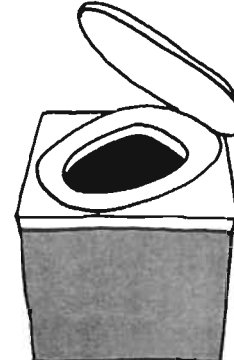


あると役立つ防災用品

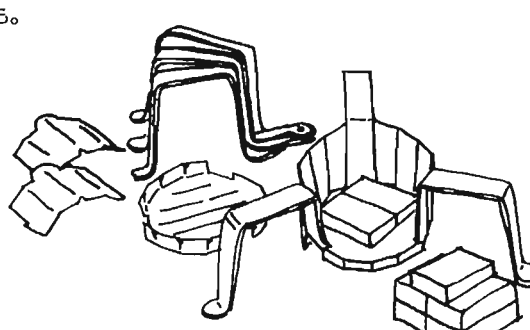
三角バケツ
消火用以外に飲料水保存タンクとしても。



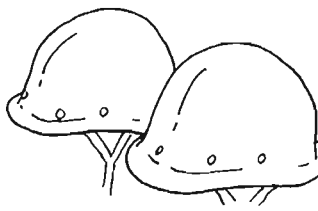
組立式簡易トイレ
水洗トイレが使えないときに。



携帯用コンロ
固形燃料も多めに。



ヘルメット
落下物などから頭を保護するために。



販売先については、防災課にお問い合わせください(現在品切れの場合もあります)。

防災に関する相談窓口

- 防災全般について……………区役所総務部防災課
☎3981-1111 内線 2371~4
- 建築物の安全について……………区役所建築部指導課
☎3981-1111 内線 3111
- 事業所の防災対策について……豊島消防署 ☎3985-0119
池袋消防署 ☎3988-0119
- 防災体験学習ができます…………池袋防災館 ☎3590-6565
(西池袋2-37-8 池袋消防署4~5階 月曜日・第3火曜日休館)

